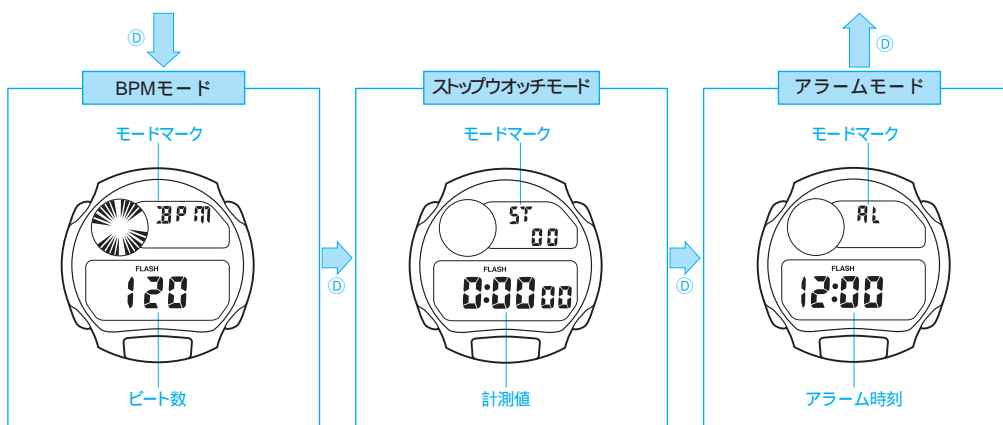
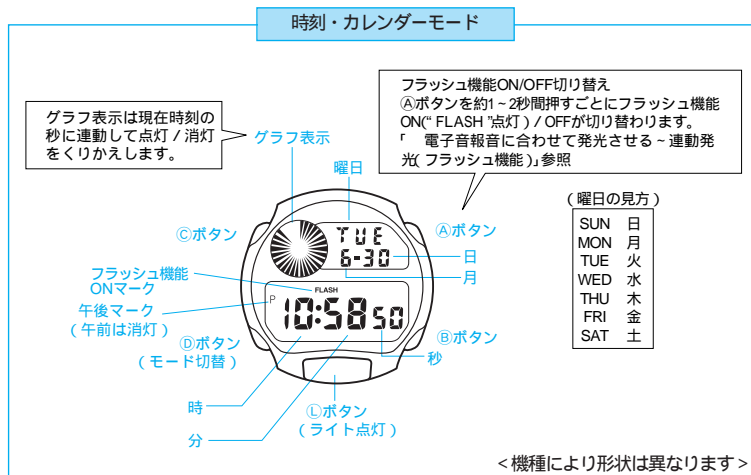


操作のしくみと表示の見方 ①ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

機種によりデザイン上デジタル表示部に反転液晶を使用しているものもあります。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

秒の合わせ方 ...30秒以内の遅れ/進みの修正

月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

1 時刻・カレンダーモードのときに、

③ボタンを1~2秒間
押します

「秒」が点滅します。

時刻・カレンダーモード



2 時報に合わせて、
②ボタンを押します

秒が00~29のときは切り捨てられ、
30~59のときは1分くりあがって、
「00」秒になります。

時報は「時報サービス電話117番」
が便利です。



3 秒合わせが終わりましたら、

③ボタンを押して
点滅を止めます



秒(時刻・カレンダー)セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

時刻・カレンダーの合わせ方

1 時刻・カレンダーモードのときに、

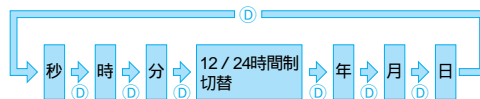
③ボタンを1~2秒間
押します

「秒」が点滅します。

2 セット箇所を選ぶ

①ボタンを押します

①ボタンを押すごとにセット箇所
(点滅表示)が以下の順に移動します。



3 点滅箇所のセット

②ボタンを押します

②ボタンを押すと点滅箇所の
数字が1つずつ進みます。
②ボタンを押し続けると数字
が早送りします。

時刻・カレンダーモード

12/24時間制切替



上記1~4の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
 12/24時間制切替のときは、②ボタンを押すごとに12時間制「12H」と24時間制「24H」とが切り替わります。
 「時」のセットのとき午前/午後(P) 24時間制にご注意ください。
 「年」は1995~2039年までセットできます。
 なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。

4 セットが終わりましたら、

③ボタンを押して
点滅を止めます

BPM機能の使い方 時刻・カレンダーモードのときにDボタンを1回押すと、BPMモードになります。

BPMは任意のビートを設定できます。セットしたビート（一定のリズム）で1分間電子音が鳴ります。

BPM機能とは

BPM*とは、任意のビートで1分間電子音を鳴らすことのできる機能です。ラップなどで一定のリズムに合わせて音を出したり、動いたりするときに大変便利です。BPMモードに切り替えると、前回BPMモードで最後に設定したビート数を表示します。
*BPMはBeats Per Minuteの略で、1分間のビート数を意味します。

ビートの再生

BPMモードのときに、

Aボタンを押します

設定されているビートで1分間電子音が鳴ります。
ビート再生中にA/B/C/D/Lボタンのうち、いずれか1つを押すと音が止まります。

ビートを設定する

ビートを設定するにはビート入力とビート数セットの2通りがあります。ビート数は5つごとに60～200の範囲で設定できます。なお、ビート数が多くなるほど、ビートは速くなります。

ボタンを押してビートをを入力する（ビート入力）

BPMモードのときに、

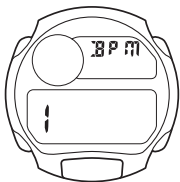
Lボタンを6回押します

Lボタンを6回押すと、その平均ビートを算出し、表示します。

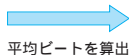
Lボタンを押すごとに「1 2 3 4 0」と表示されます。

Lボタンを6回押さないと、ビートは入力されません。

ビート入力中に3秒間Cボタンによる操作がないと、BPMモードに戻ります。



↑ L(6回押す)



ビート数

ビート数を設定する（ビート数セット）

1 BPMモードのときに、

Cボタンを1～2秒間押します

ビート数が点滅します。



ビート数

2 **BまたはAボタンを押します**

Bボタンを押すと点滅箇所の数字が5つずつ進み、Aボタンを押すと5つずつ戻ります。それぞれ押し続けると数字が早送りします。表示が点滅しているときに、BボタンとAボタンを同時に押すと、ビート数が120になります。



(戻る)

A

B

(進む)

3 セットが終わりましたら、**Cボタンを押して点滅を止めます**

セット表示のまま2～3分経過すると自動的に点滅が止まります。

自動復帰...BPMモードのまま1時間ボタン操作を行なわないと、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

アラームの使い方 時刻・カレンダーモードのときにDボタンを3回押すと、アラームモードになります。

アラームは時・分を設定できます。セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

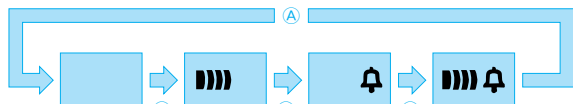
アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

Aボタンを押します

Aボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替わります。

なお、アラーム時刻をセットすると「||||」が点灯し、自動的にアラームONとなります。（「アラーム時刻のセット」参照）



アラーム	鳴らない	鳴る	鳴らない	鳴る
時報	鳴らない	鳴らない	鳴る	鳴る

アラーム・時報の報知方法

アラームONのとき

セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

時報ONのとき

毎正時(00分)になると、「ピピピ」と電子音が鳴ります。

このとき、いずれの場合でも、フラッシュ機能ON(「FLASH」点灯)にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。

鳴っている電子音を止めるには

アラーム(時報)音およびこのときの文字板の発光を止めるには、A/B/C/D/Lボタンのうち、いずれか1つを押します。

モニターアラーム

アラームモードのときにBボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

アラームモード

モードマーク

アラームマーク

時報マーク

アラーム時刻

時刻・カレンダーモード



アラーム時刻のセット

1 アラームモードのときに、

Cボタンを1～2秒間押します

アラーム時刻の「時」が点滅します。

このとき「||||」が点灯し、アラームONとなります。

モードマーク

アラームマーク

時 分 アラーム時刻

2 セット箇所を選ぶ

Dボタンを押します

Dボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。



3 点滅箇所のセット

Bボタンを押します

Bボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進みます。

Bボタンを押し続けると数字が早送りします。「時」のセットのとき、12時間制では午前/午後(P)にご注意ください。時刻を24時間制にしているときは(24点灯)、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(進む)

4 セット後、点滅を止めるには、

Cボタンを押します

セット表示のまま2～3分経過すると自動的に点滅が止まります。

ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに①ボタンを2回押しすと、ストップウォッチモードになります。
ストップウォッチは23時間59分59秒(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのときに、

②ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

計測中に③ボタンを押すと、スプリット計測となります(“SPL”点灯)。もう一度③ボタンを押すとスプリットが解除されます。(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)
計測終了後③ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

②・③ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。

通常計測

② → ② → ③
スタート → ストップ → リセット

積算計測...ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(②ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム(途中経過時間)の計測

② → ③ → ③ → ② → ③
スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット

1・2着同時計測

② → ③ → ② → ③ → ③
スタート → 1着がゴール → 2着がゴール → 2着タイム表示 → リセット
(1着タイム表示)



表示照明用ELバックライトについて

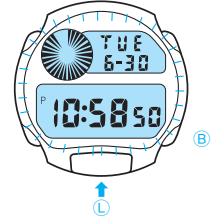
本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、電子音の報音に合わせて文字板が発光するフラッシュ機能もあります。

ボタンを押して発光させる～手動発光～

時刻・カレンダーモード、ストップウォッチモード、アラームモードのときは、

①ボタンを押します

時刻・カレンダーモード



BPMモードのときは、

②ボタンを押します

どのモード(表示)のときでも、文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。なお、フラッシュ機能ON(“FLASH”点灯)のときは、約5秒間発光します。

電子音報音に合わせて発光させる～連動発光(フラッシュ機能)～

フラッシュ機能は、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光する機能です。また、フラッシュ機能ON(“FLASH”点灯)にすると、手動発光での文字板の発光が5秒間になります。

電子音報音(発光)のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

時刻・カレンダーモードのとき、

③ボタンを約1～2秒間押します

フラッシュ機能ON



③ボタンを約1～2秒間押しすごとにフラッシュ機能ON(“FLASH”点灯)/OFFが切り替わります。

<EL発光についての注意事項>

直射日光下では、発光が見えにくくなります。

発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。

発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。